FUKUCHi

Public Relations

No.96
December

広報ふくち

福智の朝もやにマイレールが浮かびあがる
百年以上変わらない一日の始まりを
百年先の未来へつなげたい――

特集 岐路を駆ける鉄路

2013
12

【地域を支える鉄道が直面する課題】

失えないレール

平成の幕開けとともに生まれた、私たちの平成筑豊鉄道。人をつなぎ、地域を支え、日々ひた走るこの「地域の足」がいま存続の岐路に立たされている。かけがえのない鉄路を突然失わないために、身近なマイレールと私たちの日常を見つめ直してみたい――。

失いかけたときに気づく「地域鉄道」の大切さ、このままでは失いかねないピンチと向き合う。

まだ記憶に新しい昨年7月の大規模水害。九州北部に甚大な爪跡を残した集中豪雨は、経営難にあえぐ平成筑豊鉄道の鉄路に容赦なく牙をむきました。枕木を支える道床（どうしょう）の流出や土砂崩れなど、被災件数は41か所にのぼります。約1億6千万円を費やし、完全復旧まで実に57日間を要しました。思わぬ水害で残った重荷は、細く伸びた鉄路にずっしりとのしかかっています。

↑特に被害が大きかった田川線の崎山～柚須原間では、被災地点が29か所を数えました。

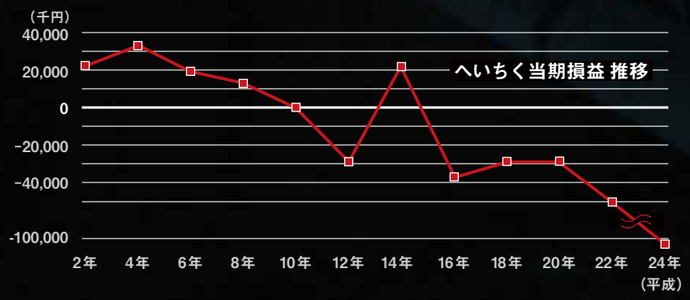
存続の危機に直面

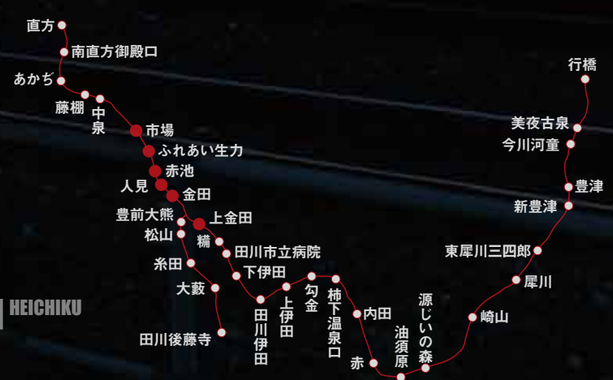
平成元年、旧国鉄の廃線対象だった赤字ローカル線を引き継ぎ、地域の期待を背負って力強く走り出した平成筑豊鉄道。地元から「へいちく」の愛称で親しまれ、私たちにとって「あって当たり前」なマイレールです。そんな、かけがえのない鉄道が今、存続の危機に直面しています。

開業当初から営業収入の約16%を占めたセメント輸送で黒字経営を維持してきた「へいちく」。しかし、平成15年度末に鉱山会社のセメント事業撤退により、貨物輸送が廃止に。それまで旅客輸送の赤字をカバーしてきた貴重な財源を失いました。さらに長引く不況、少子化による通学生の減少、自家用車の普及など「へいちく」を取り巻く環境は厳しくなるばかり。そこに昨年の水害が追い打ちをかけ、経営は火の車へと追い込まれました。

かつて開業以来10年間、第三セクターの鉄道では異例の黒字を維持し「三セクの優等生」として全国的にも脚光を浴びた「へいちく」。現在は沿線市町村からの補助金と銀行の借金などで経営をつないでいますが、今後10年間のシミュレーションでは、補助金を増額しなければ継続が困難な状況に陥っています。

これだけ車が普及し、マイカーにあわせた生活環境が整う近年、「あって当たり前」な「へいちく」の貴重さを改めて実感する機会も減少しています。「へいちく」が走る風景だけが日常の中にとけ込んでしまった今、失いかけたときに気づく地域鉄道の存在とその大切さにスポットをあてます。





福智町の金田に本社を置く「へいちく」。●は福智町内の駅

役目を終えていく貨物列車――
しかし、その存在は受け継がれ
私たちのマイレールとして
節目の年に誕生する。

↑ 炭鉱閉山後もなお黒煙をあげて力強く疾走し、貨物輸送で地域経済を支え続けた蒸気機関車（撮影：昭和49年／新具重信氏）

生活線（ライン）ヲ守ル

人々の生活に欠かせない存在となった鉄道。
国をも支えた線路はまさに地域の生活線だった。
鉄路の存続は生活そのものを守ることを意味していた。

人と地域を支え続けて

高度成長期の日本を支えた筑豊の石炭。鉄道は、この〝黒ダイヤ〟を運ぶ動脈として脚光を浴びます。明治初頭までは石炭運搬船「川ひらた」による水運輸送が主流でしたが、国策の石炭大量生産期になると、より確実に、多く、早く運べる鉄路が求められました。町内では早くも明治26年に伊田線が敷設されます。

「炭鉱の坑口へ静脈のように支線が延び、昼夜を問わず石炭を運ばなければ追いつかないほどの需要でした」と炭鉱隆盛期の伊田線を思い返す中村龍二さん。

しかし、炭都の栄華も長くは続きませんでした。昭和25年ごろから石炭から石油へとエネルギー革命が起き、炭鉱は次々と閉山。ピーク時には筑豊炭田から2千万トン以上もの黒ダイヤを運んだ鉄道は、ついに赤字ローカル線に転落します。時代に翻弄（ほんろう）された運炭鉄道でしたが、複線の「レール」や「駅舎」といった繁栄の面影を残しながら、休むことなく地域の人々を乗せ、走り続けました。

●interview

元国鉄勤務
中村 龍二 さん
（金田 本町）

昭和35年に金田駅に配属されたときの仕事は事故防止に当たる踏切の番人「警手」でした。すでに炭鉱は衰退しつつありましたが、昼間は石炭の輸送で開かずの踏切となることもしばしば。踏切を渡れずに困っている様子をよく見かけるほどの往来でした。

↑ 平成筑豊鉄道が開業。記念すべき一番列車が伊田方面へ出発（撮影日：平成元年10月1日）

年譜（国鉄～平成筑豊鉄道）

明治26年2月11日	直方～金田間（伊田線）開通（筑豊興業鉄道→九州鉄道→国有化）
明治32年3月25日	金田～伊田間（伊田線）開通（九州鉄道→国有化）
平成元年2月6日	伊田線・糸田線・田川線の廃止が決定、10月1日から新会社へ経営転換が決定
平成元年10月1日	平成筑豊鉄道開業
平成2年4月1日	中泉～赤池間に市場駅を設置 赤池～金田間に人見駅を設置 金田～糒間に上金田駅を設置
平成4年9月30日	石炭輸送の廃止
平成9年3月22日	市場～赤池間にふれあい生力駅を設置
平成15年3月22日	金田駅本社改築工事完成
平成16年3月26日	セメント輸送撤退（貨物鉄道事業廃止）
平成17年10月14日	平成筑豊鉄道再生計画策定
平成21年4月26日	門司港レトロ観光列車「潮風号」運行開始
平成22年7月14日	田川線・崎山～源じいの森間で大雨による大規模土砂流出災害が発生
平成24年7月14日	田川線・崎山～田川伊田間／糸田線で大雨による大規模土砂流出災害が発生

↑ 修学旅行に向かうため、方城中学校の生徒たちが一斉に金田駅へと詰めかける（撮影：昭和35年）

↑ 直方～上野峡間を走り鉄道と共に公共交通を支えた国鉄バス、昭和62年に廃線（撮影:昭和50年代）

↑ 昭和12年6月に開設され、昭和59年2月に無人駅となった旧赤池駅舎内（撮影：昭和59年）

悲願の「へいちく」誕生

国鉄の赤字路線となり、廃線へと追いつめられる伊田線。しかし、当時は大規模スーパーやコンビニなどが進出していない時代。各駅から伸びる駅前商店街はまだ賑わいを見せ、生活用品は鉄道を利用して購入する人も数多くいました。

当時、旧赤池町役場で地域住民と存続を訴え、現在は田川広域観光協会で沿線の活性化を図る太田傳（つたお）さんは「地域の生活に密着する貴重な交通手段である鉄道は、生活に不可欠な存在。鉄道存続は地域と行政の共通課題であり、誰もが『自分たちの鉄道を守る』という強い意志で誓願活動を続けました」と振り返ります。

各種団体も運動を展開し、行政も懇談会などで住民と意思を統一。それらの成果が実り、平成元年、ついに地域悲願の「へいちく」が誕生します。

地域の期待を背負い、さっそうとデビューした「へいちく」。地域に支えられ、10年もの間、黒字を維持しますが、過去と同じように、少しずつ時代の波に押されていきました。車社会の到来で駅前商店街が衰退し、少子化の影響で利用者が減少。開業11年目で赤字に転落して以降、厳しい経営状況が続いています。

「当時の気運を取り戻さなければ、廃線につながりかねない」と危機感を募らせる太田さん。地域住民らの血のにじむような活動で死守したマイレールだからこそ、私たちは鉄道が側（そば）にあり続ける意義を見つめ直す必要があるのではないでしょうか。

●interview

今度は私たちが支える番です

炭鉱の閉山とともに鉄道が地域に残した功績が忘れ去られているように感じてなりません。「へいちく」がピンチを迎えている今こそ、伊田線は日本の高度経済成長や戦後復興を支えた路線であることを再認識する必要があります。そして、鉄道が地域を支えてきたように、今度は地域や住民が誇りを持って「私たちのマイレール」を支えていく番なのではないでしょうか。現在、沿線市町村は「へいちく」の運営を支える負担金を支払っていますが、そのお金は皆さんの大切な血税です。だからこそ「へいちく」の現状を理解し、深く関わってほしいと思います。

田川広域観光協会
太田 傳 専務理事

鉄道がなくなる日

高千穂から汽笛が消えた――追憶のレールに重ねた想い

他人事ではない
実際に起こりうる事実。
8年前に突然消滅した
高千穂鉄道の悲劇に学ぶ。

↑ 水面から線路までの高さで東洋一を誇った「高千穂鉄橋」を通過する廃線前の高千穂鉄道。

終わりは突然に

「まさか一晩で、たった一度の災害で全てを失うなんて――」。平成18年まで高千穂鉄道に勤務していた齊藤拓由さんは、衝撃的な当時の出来事を振り返りました。

平成17年9月、宮崎県延岡市から高千穂町まで約50㎞を結ぶ「高千穂鉄道」に突然の悲劇が襲います。記録的豪雨をもたらした台風14号の被害で、約20億円という途方もない復旧費用が示されたのです。運行再開が断念されたのは、それからわずか3か月後のことでした。

「赤字経営を続ける鉄道につき突きつけられた復旧費20億円という絶望的な金額…。株主の沿線自治体をはじめ、地域住民も存続に難色を示しました」。齊藤さんは解雇後も「高千穂線全線復活熱望県民会議」の一員として存続を訴えましたが、願いは叶いませんでした。

「地域住民から『時代に合わない』など、苦言を呈されることも多々ありました。一度無くしたものを復活させるのは困難なのに、残念でなりません」と悔しさをにじませる齊藤さん。「先人たちが百年かけて作り上げた鉄道を、世代交代した私たちが、たった数か月で決めた結論で無くしていいとは思えない。積み重ねた歴史や注がれた思いを無にしたくない」と、高千穂鉄道の全線復活に向けた活動を今も継続しています。

●interview

失ってから後悔しても遅いんです

人は大事なものほど失うことを想像しません。私もまさか生活の一部だった鉄道が無くなるとは思ってもみませんでした。いま、全国の第三セクター鉄道で存続が危ぶまれる声が増えています。ぜひ沿線の皆さんには鉄道がなくなった日常や未来を想像していただき、愛着を持って地域の鉄道を利用して欲しいと思います。

元高千穂鉄道乗務員（朝倉市甘木鉄道 総務営業部長）
齊藤 拓由さん

明治時代から約100年間をかけて徐々に線路を伸ばし、昭和47年に全線開通した高千穂鉄道。メーンの利用客は通学生と高齢者、そして観光客。地域の貴重な足は突如姿を消した。

川沿いの景観が特徴的だった高千穂鉄道。被災時にはその立地が災いし、線路が流出する箇所が続出。復旧費用は試算段階で約50億とも言われ、関係者は失意の日々を過ごした。

失ったものの大きさ

高千穂鉄道の廃線後、町は一変したそうです。高千穂町役場企画観光課に嘱託職員として勤める矢野鮎さんに、町の状況を伺いました。

「通学生や高齢者が来店できないため、駅周辺では閉店が相次ぎ、閑散としています。通学をバスに変えたり、家族が送迎する光景も目立ちます。学生は転校し、高齢者はかかりつけの病院を変えたり、不便な生活を強いられています」。

鉄道と共に人の流れを失い、駅周辺の賑わいも消えつつある高千穂町。九州を代表する観光地の一つですが、経済的課題も深刻です。

「鉄道の旅情を楽しみたかったという声も多く、観光客からも廃線が惜しまれています。もともと交通の便が悪かった町が、さらに貴重な公共交通機関を失ったため、魅力やイメージの低下など、地域経済の悪影響に直結しています」と声を落とす矢野さん。地域が失ってしまったものは、鉄道だけでなく、取り戻すことが難しい、たくさんの「かけがえのないもの」でした。

高千穂町在住
矢野 鮎さん

JR・第三セクター鉄道会社　日本各地で路線廃線が相次ぐ

2000年代に入って、JRと第三セクターの鉄道会社33路線が廃線に追い込まれています。その要因は2つ。まず一つが1999年に施行された鉄道事業法の改正。それまで鉄道は、地元が反対する場合は廃止できませんでしたが、新制度では「認可制」から「許可制」に変わり、鉄道会社が届け出を出せば、廃線が許可されるようになりました。

そして、もう一つの要因が第3セクター鉄道会社の資金切れです。設立当時に国から提供された「経営安定資金」が、2000年代にどの会社も底をつき始めています。そのため、鉄道会社と、その筆頭株主である自治体は、新たな「経営安定化基金」を準備するため、税金で赤字を補てんする必要に迫られています。

第三セクター鉄道の存続は、今や選挙の争点にもなり、住民の意思を間接的に反映します。その結果、赤字路線に注目が集まり、廃止の検討が全国的に行われ、貴重な鉄道が姿を消してしまうようになりました。

2008年4月に廃線した「三木鉄道（兵庫県）」。住民アンケートでは、廃止賛成が70％にのぼり、終着を迎えました。

最盛期、100kmを超えた営業路線も現在では一部路線を廃線し、三分の一にまでになっている「のと鉄道（石川県）」。

思いを伝える往復切符

● interview with rail users

「へいちく」愛用者の声

白石 勝則さん
（弁城 宝珠）

子どもの頃からなじみ深い金田駅は、私の49年間の鉄道勤務で最後の16年を世話になった愛着ある駅。現在は金田駅の名誉駅長に任命していただきましたが、恩返しの気持ちで各種イベントを手伝っています。

谷本 智代子さん
（上野 高見台）

赤池駅で「お好み焼き美代」を営み今年で20年目を迎えます。その間、駅を利用する子どもたちを我が子のように見てきました。子どもと私を結ぶ赤池駅がこれからもずっとあり続けることを名誉駅長として願っています。

福田 キヨ子さん
（金田 西金田）

直方や後藤寺の商店街で買い物するときや博多にいる娘に会いに行くときなどに利用しています。厳しい現状を知っているので、力になればと思い、メッセージが添えられるつり革オーナーに「がんばれ」と投稿しました。

吉田 美奈子さん
（弁城 二川田）

息子が3年間、今年高校を卒業する娘が3年間お世話になりました。営んでいる店が金田駅の近所で、駅員さんと話すことも多く、親近感を持って見守っています。これからもずっとご近所付き合いをしていきたいです。

杉原 将太さん
（赤池 上桜町）

高校への通学と遊びに行くときに利用しています。僕たちにとって町外への公共交通手段と言えば「へいちく」しかありません。地域に欠かせないので、これから利用する後輩たちのためにもずっと存続してほしいです。

香月 友菜さん
（伊方 清先）

来年高校へ通学するときに、もし「へいちく」が無かったら親に送迎を頼まなくてはいけないので、本当に困ります。今も友達と直方に遊びに行く時などに利用していますので、いつまでも走り続けてほしいです。

【創意工夫の経営改善だけでは打開できない地方鉄道の窮状】

経営努力の限界

これまで途方もないシミュレーションを繰り返し、ギリギリの経費削減にトライしてきた「へいちく」。アイデア企画の展開やPRなどの経営努力だけでは超えられない限界が見えてきました。

厳しい現状を打開するために、さまざまな取り組みを試みる「へいちく」。観光列車「潮風号」の導入や広告物を掲載した「ラッピング列車」、「へいちく浪漫号」などの新車両を導入し、利用客数の増加とイメージアップを図っています。

黒から白へシフトした後

開業以来10年間黒字を維持し「三セクの優等生」と呼ばれた「へいちく」。その強みは石灰・セメントによる貨物輸送にありました。伊田線の直方～金田間で、平成2年の貨物輸送収入は2億円以上。かつて石炭が〝黒ダイヤ〟と呼ばれたのに対し、それに替わる産出を担った石灰・セメントは〝白ダイヤ〟と呼ばれました。しかし、その時代も長くは続かず、平成4年に石炭輸送が無くなり、平成16年には三井鉱山セメント（田川市）の解散でセメント輸送も廃止され、営業収入の約16％を占めた貨物輸送を失ってしまいます。その苦境に加え乗客数も大幅に減少。本年度の乗客数は、ピーク時の約半分にまで落ち込む見込みです。

『平成筑豊鉄道の潜在需要と地域活性化に関する研究』をまとめた福岡県立大学の文屋俊子教授は「経営の合理化やサービスの向上、地元との連携という経営維持の努力はなされていますが、効果を上げたとは言い難い状況です。開業後数年間の乗客増は、駅の増設や増便の効果だと思われます。その影響が一段落した後は、自治体による駅舎改築や地元との連携策なども進んではいますが、めざましい乗客増にはつながっていません」と分析。地域を支える公共交通である「へいちく」の行く末を危惧しています。

●interview

福岡県立大学
人間社会学部
文屋 俊子 教授

福智町にはへいちくの本社があるということをもっと評価し、誇るべきです。平成19年に行った調査では、鉄道を普段利用しない人でも3分の2以上は公共交通機関が必要だと回答しています。ぜひ町のシンボルの一つとして捉え、観光や地域活性化のまちづくりに地域の鉄道を活用して欲しいと思います。

かつて黒い壁が動いているようにもみえた貨物車両の列は、今では見ることができない光景。輸送収入を失い、乗客も減少し続ける「へいちく」は、いま危機的状況に直面している。

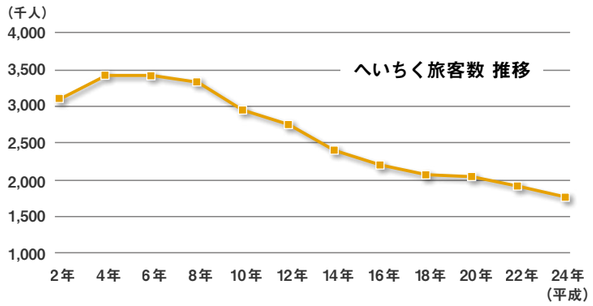
「毎月一つは何かやろう」と、職員が共通意識を持ち、地域住民と寄り添えるイベントを展開する「へいちく」。11月24日には、日本航空やトヨタ自動車九州と連携し「のりものフェスタ」を開催。車両運転をはじめとする体験コーナーなどで、郷土の子どもたちに「のりもの」の魅力を伝えました。

平成16年に誕生した「ちくまる」は元祖ゆるキャラとも呼び声が高く、地域のマスコットとして活躍。他にもホルモン鍋列車やボジョレー・ヌーボー列車などユニークなイベントを企画し、地域に根ざした活動を展開しています。

〝その時〟のシミュレーション

乗客の減少が招く収入減を運賃値上で補えば、更なる乗客減少を招きます。そこに近年の異常気象による災害が加われば、地域鉄道は致命傷を負います。

では、地域から鉄道が無くなると、どうなるのでしょうか。一般的にはバス利用へ転化しますが、そのバス路線でさえも採算が取れず、廃止が検討されているのが現状です。バスもなければ、急な積雪時はタクシーか徒歩で移動するしかありません。通勤はもちろん高校生や大学生は日々バイクや車で通うしかなく、生活の根本が揺らいでいきます。しかし、それは移動手段だけの想定に過ぎません。私たちが鉄道を失うことが何を意味するのか、いま真剣に向き合う岐路にさしかかっています。



●interview

より愛される鉄道を目指して地元に寄り添う存在へ

人件費削減をはじめ、駅窓口の委託化、休日ダイヤの導入など、これまで徹底した経費削減を行ってきた「へいちく」。しかし、立ちはだかる経営難の壁は想像以上に高く、もはや鉄道会社だけの経営合理化や経費削減だけでは乗り越えられなくなっています。

景気低迷が続く中、自家用車の普及や少子化などにより、乗客が年々減少し続けている「へいちく」は、いま厳しい状況に直面しています。この危機を乗り切るには、まず、地元のみなさまに関心を持っていただき、愛される存在にならなければなりません。そのために「毎月何かやろう」と社内一丸となってさまざまなイベントを企画し、知名度の向上を図りながら、地元に密着した取り組みにチャレンジしています。

私たちは、今までもこれからも、地域の公共交通機関として、より地元に親しまれる「へいちく」であることを目指さなければなりません。受け身ではなく積極的に、情熱をもって取り組む姿勢が見えなければ、地元のみなさまの理解は得られませんし、心を動かすことはできないと思います。ぜひみなさまには、鉄道がなくなった町の姿を想像していただき、少しでもお力添えをいただけたらと願っています。

平成筑豊鉄道株式会社
代表取締役
武内 功 専務

［岐路を超え駆け抜けていくために］

未来への切符

「へいちく」のない生活なんて考えられない…。未来のため、「へいちく」を守り抜くために私たちが日常で出来ることがあります。

もしも鉄道を失ったなら

旧国鉄時代から含めて120年もの間、この故郷にあり続け、地域を支え続けてきた鉄道。存続を守り抜き、地域の悲願として誕生した「へいちく」。そんな地域の大切な財産が今、もがき、苦しんでいます。

赤字を理由に事業者が撤退した鉄道を第三セクター鉄道として地域がお金を出して存続させることは、簡単なことではありません。実際に全国では2000年以降33もの路線が姿を消しています。

「へいちく」がなくなったらどうなるのか、誰が困るのか…。そう考えたとき、直接的な利用者だけの問題ではないことに気づきます。特に通学などの教育面と高齢者利用の福祉面で打撃を受けることになります。さらに、教育面と福祉面で不利になった地域で、新たに暮らそうとする人は激減するでしょう。そして、住みにくくなった地域に住み続けようとする人も少なくなります。子どものため、自分の将来のために転出する人が後を絶たなくなれば、町の勢いはなくなり、町の収入も半減します。行政サービスの悪化が更なる人口流出へとつながり、町は衰退していきます。

乗って残そう未来へ

「へいちく」が厳しい現状は分かります。ではどうすれば地域の鉄道が守られるのか。答えはズバリ、一度でも「乗る」ことです。

現在、「へいちく」が走る沿線自治体は9市町村。9月末時点での合計人口は26万568人です。仮に1人が1年に1回利用した場合、平均乗車料金310円で計算すると約8千万円になります。割引対象の小学生以下（平成22年国勢調査参考）を除いても約7千万円。昨年の「へいちく」の損益約1億円の穴埋めに近づく金額です。さらにもう1回乗れば、未来への積み立てができます。

それは少子高齢化と人口減少が進む厳しい将来に備えた蓄えとなり、未来の子どもたちへ「へいちく」をつなぐことが約束されます。

イベントやお酒の席への参加など目的はさまざまですが、意識して年に一度でも利用すれば「へいちく」は守られます。皆さんにとっての〝たった一度〟は「へいちく」にとっての〝未来につながる一度〟になります。

人を目的地へと運ぶことが「へいちく」本来の役目。その日常のゆるぎないニーズがあれば「へいちく」は存続の岐路を超え、まだまだ故郷を駆け抜けることができます。

これからもずっと、子どもたちの夢や青春を運び続けられるように…。人生を最後まで豊かに謳歌できるように…。私たちのほんの少しの行動は、未来につながる大切な切符を握っています。

車両を待つ学生の声がこだまする金田駅。「へいちく」は今も昔もこれからも、なくてはならない「マイレール」です。地域の鉄道を守り育てていく「マイレール意識」が醸成すれば、他の利用者への思いやりや地域に対する愛着、住む町への誇りを生むことにもつながっていきます…。

お知らせ

図書館・歴史資料館準備室からお知らせ

蔵書整理作業のために図書室は臨時休室中

問 生涯学習課 公民館係　☎28-4100

←少しでも早い図書室業務の再開のため、現在全力で作業に取り組んでいます。

本の貸し出し・返却・リクエスト・予約などの図書室業務は今まで手作業で行っていたため、利用者のみなさんには大変ご不便をおかけしていました。そこで、図書室業務のスピードアップとサービスの向上を目指し、電算システムの導入を決定。その移行準備として、現在町内3公民館（中央公民館･金田分館･方城分館）の図書室にある、合わせて約25,000冊の蔵書整理を進めています。蔵書整理では、本や資料を分類別に整理し、図書情報のコンピューター入力や傷みのある図書の修理などを行う予定で、その間各図書室は作業室となるため利用ができません。休室期間は3か月程度の予定ですが、作業状況によっては変更する場合がありますので、図書室業務の再開準備が整い次第、広報紙などでお知らせします。なお、現在借りている本の返却は、町内3公民館で受け付け中です。蔵書整理などの作業を円滑に進めるためにも、お早めの返却をお願いします。

お知らせ

下田川清掃施設組合職員採用試験

下田川清掃施設組合の職員採用試験を実施

問 下田川清掃施設組合　☎22-0220

下田川清掃施設組合では職員採用試験を行います。募集案内は下田川清掃施設組合で配布しますので、要項に従い、期限内にお申し込みください。

▶**申込期間**　平成26年1月6日㊊～2月5日㊌まで（平日8：30～17：00）

▶**採用人数**　一般事務職：1人

▶**受験資格**　福智町または糸田町在住で、昭和49年4月2日～平成8年4月1日までに生まれた人

※詳しくは下田川清掃施設組合までお問い合わせください。

お知らせ

平成25年度成人式

懐かしいあの人と共に人生の門出を祝おう

問 生涯学習課 社会教育係　☎28-2046

懐かしい顔がそろい、当時の思い出がよみがえる「福智町成人式」が、次のとおり開催されます。町内在住者および赤池・金田・方城中学校卒業の対象者には、現住所あてに案内状を送付しています。

▶**日時**　平成26年**1**月**12**日㊐ 14:00 開式
※受付は13:00から、開式は14:00からを予定しています。
※式典・記念講話終了後、集合写真を撮ります（15:30終了予定）。

▶**場所**　福智町地域交流センター（伊方4478番地1）

▶**対象**　平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ

←人生の大きな節目をふるさとの仲間や恩師と喜び合い、ぜひ思い出話に花を咲かせてください。

イベント

福智町観光PR企画

原点の日に振る舞う福智名物方城すいとん

問 まちづくり総合政策課 政策推進係　☎22-7766

大正3年12月15日に発生し、670人以上が犠牲となった日本最大の炭鉱爆発事故「方城大非常」。事故から99年を迎えるこの日、方城大非常ゆかりの福智名物「方城すいとん」の振る舞い会を行います。かつてこの町に、日本の産業を支えた炭鉱と尊い命の犠牲があったことを忘れないために、一緒にすいとんを囲みませんか。（先着300杯）

▶**日時**　**12**月**15**日㊐ 10:00～

▶**場所**　平成筑豊鉄道金田駅舎内

へいちくコラボ特典

「ちくまるキップ」をご提示の人にうれしい特典があります。
① 「大福おばちゃんのかしわおにぎり」を1つサービス！（当日先着順）
② 「日王の湯」か「ふじ湯の里」の入浴料が半額に！
③ ②で入浴した人に「ふくち☆リッチジェラート」を1つサービス！

「ちくまるキップ」…平成筑豊鉄道が1日乗り放題のキップ。
料金：大人用1,000円・子ども用500円（へいちく車両内でも購入可）
当日は㊏㊐㊗限定ファミリー特典により、大人用1枚につき小学生1人分が無料で、子ども用1枚につき小学生2人分が乗車できます。

ニュース

職員対象の福智町観光研修

町職員一人ひとりの観光力アップを目指す

問 総務課 人事係　☎22-0555

←実際に現地を訪れ、史跡や名所の雰囲気を肌で感じつつ、知識や理解をより深めた研修となりました。

観光のまちへの基盤づくりを進めている福智町が、町職員対象の観光研修を行いました。町長をはじめ全職員271人が参加した同研修は、町職員の観光資源に対する知識や理解をより深めるため、福智町グリーンツーリズム推進委員会所属の観光ガイドが引率。福智への観光客に人気の高い10か所の史跡や名所を巡り、約3時間観光ガイドから町に眠る歴史や秘話などを学びました。

ニュース

そよ風保育園新園舎完成

園児を優しく包み込む新生そよ風保育園

問 福祉課 福祉係　☎22-7763

そよ風保育園の改築工事が、約8か月の工事期間を経て10月末に竣工しました。平成17年に旧上金田保育所が民間譲渡され、上金田福祉会が運営を行ってきた同保育園。築36年が経過した園舎は、雨漏りや壁のひび割れなど建物の老朽化が進行。園児たちの安全確保とよりよい保育環境の整備のため、県と町の補助事業で装い新たに生まれ変わりました。10月27日に行われた落成式で鈴木千賀子園長は、「思い出深い園舎がなくなるのはさみしいですが、新しい園舎で園児たちとたくさんの思い出を刻んでいきたいです」と、91人の園児たちを育んでいく新園舎に期待のまなざしを向けていました。

←「子どもたちが元気に遊び回れる園舎」をコンセプトに、園庭やバルコニー、玄関や各部屋が大きく設計され、広々とした空間が特徴。

お知らせ

福智町観光パンフレット「福智お散歩手帖」

町の魅力がいっぱいの観光パンフレット発行

問 まちづくり総合政策課 政策推進係　☎22-7766

←文章だけでなく、写真や地図、イラストを使った読みやすい1冊。

町の魅力や新たな観光資源のPRのため、新しく発行した無料観光パンフレット「福智お散歩手帖」。町内にある全窯元の紹介をはじめ、山や自然、祭や特産品など福智の魅力をふんだんに掲載しています。持参しても邪魔にならないB5サイズの全44ページで構成されたパンフレットは、この1冊で福智に訪れたみなさんのニーズに応える逸品となっています。在庫不足になるおそれがありますので、興味のある人はお早めにお求めください。

▶**設置場所**　役場 まちづくり総合政策課

ニュース

田川発の人権啓発冊子が法務大臣表彰受賞

人権問題の解消願った啓発冊子が快挙達成

問 生涯学習課 人権同和教育係　☎28-2046

←世界記憶遺産である筑豊ゆかりの絵師・山本作兵衛の炭坑画を表紙に掲載。石炭産業の歴史に触れつつ、身近な人権問題を訴えかけています。

8市町村の職員らで構成する、田川地区社会同和教育担当者会が発行した人権啓発冊子「しあわせはみんなのねがい」が、今年度の人権啓発資料法務大臣表彰の優秀賞を受賞しました。「冊子に関わる職員や印刷業者の人権意識も深めよう」と、田川地区人権センターの堀内忠さんらの助言を受けながら、取材から細部の構成まで職員らで作成。県や政令指定都市以外では珍しい、市町村規模での受賞という快挙を達成しました。

▶金田小学校 ☎22-0061 ▶上野小学校 ☎28-2133 ▶市場小学校 ☎28-2009 ▶伊方小学校 ☎22-0127
▶弁城小学校 ☎22-0129 ▶金田中学校 ☎22-0136 ▶赤池中学校 ☎28-2117 ▶方城中学校 ☎22-0237

スクールインフォメーション

学校からのお知らせ

6年生に感謝の気持ちを

金田小学校

1年生の入学式や分団登校での下級生のお世話、委員会活動や体育会など、金田小のリーダーとして、学校行事の中心となって頑張ってくれた6年生。3月に控えた卒業を前に、今までお世話になった感謝の気持ちを込め、1年生から5年生までが主体となって、「6年生を送る会」を実施します。立派に成長した6年生の姿とともに、それぞれの学年の一回り大きくなった姿を見ることができます。みなさん、ぜひお越しください。

【土曜日授業（6年生を送る会）】
日程 2月22日土

⬆➡ 在校生一人ひとりが6年生への感謝の気持ちを込めて、合唱奏や手作りのメダル、寄せ書きなどをプレゼント。

声援を力に変え全力疾走

弁城小学校

弁城小では、1月24日金にマラソン大会を実施します。子どもたちは、毎週月水金の3日間を「パワーアップタイム」と位置付け、7分間の持久走を1年間通して取り組んできました。その成果を発揮する場がこの「マラソン大会」です。当日は保護者だけでなく、生活科や総合学習でお世話になっているゲストティチャーなど、地域のみなさんにも例年応援に来ていただいています。あなたも子どもたちの〝がんばり〟を見に来ませんか。お待ちしています。

【マラソン大会】
日時 1月24日金 11時10分～

⬆➡ 弁城小周辺を子どもたちが元気いっぱいに駆け抜ける姿を沿道から応援しませんか。保護者だけでなく、地域のみなさんも大歓迎です。

6年生ありがとう「思い出のメモリー集会」

市場小学校

⬅ 6年生の似顔絵などがあしらわれた「巨大絵」で会場を彩り、全学年が合唱奏を披露。最後は6年生の発表で会を締めくくります。

市場小では、毎年6年生の卒業を控えた3学期に、全学年がすばらしい歌や合奏を披露する「思い出のメモリー集会」を行っています。これは、一年間学校行事の中心となって企画・運営をしてきた6年生へ、在校生たちが“感謝の気持ち”を思い思いの出し物やプレゼントで伝える集会です。例年、保護者のみなさんはもちろん、地域でお世話になった人たちも招待しています。今年もみなさんの思い出に残るすばらしい集会になると思いますので、みなさん来てみませんか。

【思い出のメモリー集会】日程 2月28日金

上野小3学期の主な行事予定

上野小学校

3学期は約50日と短いものの、「学習のまとめ」「6年生を送る会」「卒業式や修了式」など、児童にとって大切な総まとめの学期です。土曜日授業などを活用し、下記の日程で各種行事を実施していきます。ぜひ上野小にお越しください。

【授業参観・学級懇談会】日時 1月24日金 14時～
【土曜日授業（6年生を送る会）】
日時 2月22日土 9時～
【卒業式】日時 3月14日金 9時45分～
【修了式】日程 3月24日月
※ 他にも新1年体験入学や中学校体験入学なども予定しています。詳しくは学校からのお知らせなどでご確認ください。

⬅ 6年生を送る会では児童会活動を引き継いだ5年生がリーダーシップをとり、全学年による歌や劇、合奏などで会を盛り上げます。

達成感が〝力〟を伸ばす

伊方小学校

伊方小では、児童の学力や体力アップを目指すとともに、学校生活がより楽しくなるような魅力ある学校づくりを目指し、今年度新たな取り組みを始めています。

『学力アップ』では、「漢字検定試験」や、思考力や計算力を身につける「数字パズル」などにチャレンジ。朝の学習時間などを活用して、全学年で取り組みを進めています。

また、『体力アップ』では、福岡県が取り組む「みんなでドッジボールラリー」への参加や、毎日の掃除の中で15mの廊下を10回以上の雑巾がけに挑戦するなど、学校生活の中に〝目標を設定する機会〟を用意して、児童の体力向上を図っています。

⬆➡ みんなで決めた目標に向かい、一人ひとりが挑戦意欲を持って取り組むことで、より自発的な成長が期待されます。

来場者の心に響いた赤池中のハーモニー

赤池中学校

9月22日日に市場小体育館で赤池中文化祭（合唱コンクール、学習発表）を行いました。今年の合唱コンクールは、「全員で心ふるわせる歌声を」を合い言葉に、約3週間という短い練習期間にもかかわらず、最高の合唱を目指してどの学級も一生懸命練習に励み、当日は息の合ったハーモニーを披露。審査員からも「どのクラスも生徒全員が本気で歌っている姿に感動しました」など、高い評価をいただきました。また、当日はたくさんの保護者や地域のみなさんにご参観いただき、卒業を控えた3年生にとって最高の一日となりました。

⬅ 今年の合唱コンクールで見事グランプリに輝いた3年2組。少ない人数ながら会場に美しいハーモニーを響かせ、拍手喝采を浴びていました。

金田中3学期の行事予定

金田中学校

⬆ 事前に中学校の雰囲気を体験することで、新しい生活への不安や疑問を軽減できるはず。

⬆ 授業の様子を参観して、生徒たちの生き生きとした学ぶ姿をぜひご覧ください。

【小学生体験入学】日程 1月下旬～2月上旬を予定

例年3学期に金田小6年生を招いた体験入学を実施しています。体験入学では、学校行事の説明や実際に授業を受けることで、6年生とその保護者に中学校生活の見通しと入学にあたっての心構えをもってもらうことが目的です。

【土曜日授業（授業参観）】日程 1月25日土

多数の保護者や地域のみなさんの参観をお待ちしています。また、第1・第3木曜日を学校開放日としています。日常の学校生活を参観できますので、ぜひお越しください。

感動の合唱コンコール

方城中学校

10月26日土に、「一唱懸命」というテーマで合唱コンクールを挙行しました。練習期間には、やる気のある子となない子がぶつかったり、声がうまく出せなかったりと、各学級でなかなかクラスが一つにまとまりならないこともありました。しかし、学級での取り組みや練習を行いながらその困難を乗り越え、ぶつかった分、今まで以上にクラスや学年の心が結束。本番では緊張感のある真剣な歌声を披露できました。その「一唱懸命」な姿は聴いている人に感動を与え、思わず涙を流す保護者も…。特に3年生全員が肩を組んで歌った学年合唱では、生徒の目にも光るものがあり、会場全体が暖かい雰囲気に包まれていました。

⬆ 3年間の思いを込めて歌った最後の合唱が終わると、詰めかけた保護者から盛大な拍手が送られました。

決算

check

平成24年度まちの財政通信簿

平成24年度決算がまとまりました。歳出決算額は約148億円で、実質収支は約10億円の黒字でした。前年度の町のお金と財産の現状、今後の課題をみなさんの目でチェックしていきましょう。

決算概要 猶予なき行財政改革

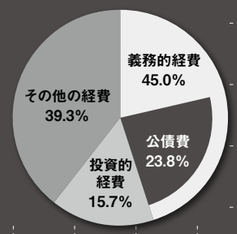
財政硬直慢性化からの脱却

一般会計の歳入総額は約159億５千万円、歳出総額約148億円で、翌年度への繰越財源を除き、約９億９千万円の実質収支黒字となっています。ただし、前年度からの純繰越金が約12億８千万円あることから、単年度の収支としては約2億9千円の赤字ということになります。このように、前年度繰越金や基金の取り崩しで毎年度10億円前後の実質収支黒字を計上しているものの、財政力指数は全国最低水準。また財政構造の弾力性を測る経常収支比率は95.4%と、こちらも類似団体中の最高レベルにあり、財政硬直の慢性化からの脱却が昨年にも増して急務な課題となっています。

一般会計歳出

歳出額は約148億円

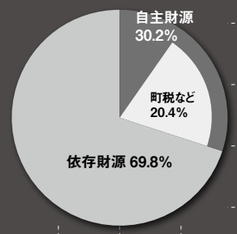
前年度に町が支出した一般会計の総額は約148億円。これを性質別にみると、人件費・扶助費・公債費の「義務的経費」が約66億6千万円で全体の45.0%、そのうち借金を返済する公債費は約35億3千万円（繰上償還金含む）で、全体の23.8%となっています。また「投資的経費」は約23億3千万円で全体の15.7%、そのうち普通建設事業費は前年度より約7億2千万円減額の約23億円で、全体の15.5%を占めています。



一般会計歳入

歳入額は約159億５千万円

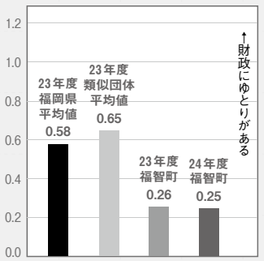
町に入った平成24年度の一般会計の歳入は約159億5千万円でした。内訳は、国や県に頼った依存財源が69.8%、町でまかなう自主財源が30.2%です。しかし自主財源には、基金の取り崩し（約1億5千万円）や前年度からの繰越金（約12億８千万円）が含まれ、町税などの収入は約32億5千万円で、全体の20.4%にとどまっています。依存財源の中で最も多い割合は地方交付税で、歳入全体の40.1%を占めています。



財政力指数

全国最低水準の財政力

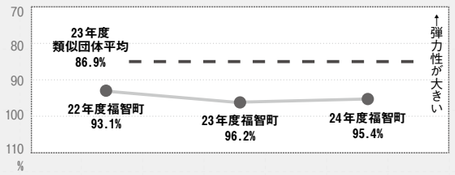
基準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が高いといえます。町の財政力指数は23年度類似団体平均値0.65に対し0.25と、全国的にも最低水準。今後、地場産業の活性化や企業誘致など、税収入の確保による財政基盤の強化が必要です。



経常収支比率

昨年度より0.8%下降も依然危険ライン

家計に例えると、光熱水費など毎月確実に支出される「経費」に対し、給料などの毎月決まって得られる「収入」の割合を表した数値です。本年度は95.4%と前年度より0.8%下降したものの、23年度類似団体数値を8.5%上回っており、依然として財政構造の硬直化が顕著に現れています。今後もより一層の経常経費の削減を図ります。



基金（普通会計）

町の貯金残高は約149億2千万円

条例や法令に基づいて設置される「基金」は、特定の目的のために活用できます。普通会計では24の基金があり、24年度末の残高は約149億2千万円です。24年度は福岡県市町村災害共済基金組合の解散による清算金約5億4千万円を、財政調整基金へ積立てたことなどにより、対前年度比で約6億4千万円の増額となっています。

特別会計

国保と診療所の赤字額が増大

特定の事業を行うために一般会計とは別に設置される特別会計では、国保会計が約9億8千万円、診療所会計が約3億3千万円の赤字となり、前年度よりも赤字額がさらに拡大し、非常に厳しい状況に直面しています。

区分	歳入	歳入歳出差引
住宅新築資金等貸付事業	1億5,769万円	2,470万円
国民健康保険	26億7,369万円	-9億8,350万円
後期高齢者医療	2億7,535万円	286万円
町立診療所事業	4億6,356万円	-3億3,388万円
田川郡町村公平委員会	116万円	45万円
水道事業（収益的事業）	5億4,583万円	2,686万円

健全化判断比率・資金不足比率

早期健全化基準は全てクリア

健全化判断基準	福智町	早期健全化比率	財政再生基準
実質赤字比率 *1	—（△13.37%）	13.87%	20.00%
連結実質赤字比率 *2	—（△2.07%）	18.87%	30.00%
実質公債費比率 *3	13.6%	25.00%	35.00%
将来負担比率 *4	—（△135.4%）	350.0%	—

健全化判断基準	福智町	早期健全化比率	備考
資金不足比率 *5	—（△92.9%）	20.0%	水道企業会計での算定

※赤字が生じない場合は「—」で表示、参考値の黒字比率を(△)内に掲載。

*1 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
*2 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
*3 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率
*4 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率
*5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

滞納

滞納額は約31億8千万円

税金や使用料など、24年度までの滞納額は約31億8千万円で、前年度に比べ約2千万円の微減となっています。減少したとはいえ、30億円超の滞納解消に向け、差し押さえや法的措置などの厳しい措置を行います。

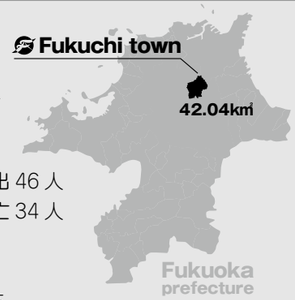
平成24年度までの主な滞納額	
町民税	1億1,241万円
固定資産税	1億6,638万円
軽自動車税	1,821万円
国民健康保険税	2億1,584万円
保育料	8,555万円
住宅等使用料	2億4,995万円
住宅管理料	1,126万円
学校給食費	4,627万円
住宅新築資金等貸付金	20億654万円
水道使用料	2億6,395万円

地方債（普通会計）

町の借金残高は約213億1千万円

年度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。24年度末の残高は23年度から約12億6千万円減少し、約213億1千万円となっています。これは、繰上償還（約11億８千万円）を実施したことが大きな要因です。今後も借金減少に向けて事業効果を十分検討し、慎重な地方債発行を行わなければなりません。

Population 人のうごき（福智町の人口）



●**人口** 24,513 人
前月比＋6人
前年比－196 人
男性 11,582 人
女性 12,931 人
転入 67 人・転出 46 人
出生 19 人・死亡 34 人
●**世帯** 11,219 世帯
前月比＋8世帯
前年比＋18世帯
※ 平成24年10月末現在（住民基本台帳人口）

（お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。 福智町長・福智町議会議長）
―― 弔電はひかえさせていただいています ――

Tax おさめて安心（税の納期限）

● **国保税**［6期］12月25日㈬ が納期限です
● **固定資産税**［4期］12月25日㈬ が納期限です

Event チクホーnet（近隣の催し）

［大任町］おおとう桜街道イルミネーション
点灯時間 17：30 ～ 22：30 1月中旬まで
（道の駅おおとう桜街道）
いつもと違った、おおとう桜街道の夜を満喫ができます。みなさんぜひお越しください。
問 おおとう桜街道 ☎63-4430

クリスマスコンサート
12月23日㈪ 第1部 11：00 ～
第2部 14：00 ～
（道の駅おおとう桜街道）
地元・田川を拠点に活動する「風見鶏」など、3グループがクリスマスソングを奏でます。
問 大任町役場総務企画財政課 ☎63-3000

［川崎町］農産物直売所「De・愛」歳末感謝祭
12月8日㈰ 9：00 ～ 15：00
（川崎町農産物直売所「De・愛」）
今年も「De・愛」で歳末感謝祭を催します。抽選会をはじめとした感謝祭だけの特別イベントが盛りだくさんです。

←もちつきやぜんざいの振る舞いなども予定しています。

問 川崎町役場農商観光課 ☎72-3000

Medical health

保健の掲示板

12月16日から1月15日までの保健事業日程

● **12月18日㈬【7～8か月児健診】**
生後7～8か月児を対象（個人通知します）
［会場］コスモス保健センター ［受付］13:00～14:00

● **12月18日㈬【乳幼児相談】**
2か月児、身体計測・育児相談などの希望者を対象
［会場］コスモス保健センター ［受付］14:30～15:00

● **1月8日㈬【4～5か月児健診】**
生後4～5か月児を対象（個人通知します）
［会場］コスモス保健センター ［受付］13:30～14:30

● **1月8日㈬【乳幼児相談】**
2か月児、身体計測・育児相談などの希望者を対象
［会場］コスモス保健センター ［受付］14:30～15:00

● **1月10日㈮【もぐもぐ教室】（要予約）**
4～10か月児を対象にした離乳食教室
［会場］方城保健センター ［受付］10:00～12:00
※コスモス保健センターへお申し込み下さい。

● **1月15日㈬【3歳児健診】**
3歳～3歳1か月児を対象（個人通知します）
［会場］コスモス保健センター ［受付］13:00～14:00

● ※ 金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。各保健センターなどで予約制の健康相談を実施いたします。

● 問 **コスモス保健センター ☎ 28-9500**

Holiday clinic

【田川地区急患センターからのお知らせ】

年末年始も診療いたします

田川地区急患センターでは、年末年始における急病患者の応急診療を確保するため、下記の日程で休まず診療します。診療科目は時間によって異なりますので、お間違えのないようにご注意ください。

場所：田川地区急患センター（田川市石炭・歴史博物館横）
診療科目・受付時間
【12月31日㈫～平成26年1月3日㈮】
外科▶ 9：00～12：00、13：00～17：00
内科、小児科▶ 上記の時間＋ 18：00～23：00
問 **田川地区急患センター ☎ 45-7199**

保健師だより No.75

〝睡眠〟は心と体によく効くクスリ

睡眠不足は心身の健康バランスを崩し、生活の質に大きな影響を与えます。睡眠環境を整えてグッスリと眠るようにしましょう。

問 コスモス保健センター ☎ 28-9500

あなたは大丈夫？〝睡眠不足〟チェック

- ふとんやベッドに入ってもなかなか寝つけない
- 眠りが浅いと感じる
- 夜中に目が覚めて眠れなくなる
- 寝覚めが悪い
- 寝てもなかなか疲れがとれない
- 日中、眠くて仕方ない
- 週末に寝だめしている
- 睡眠薬代わりに寝酒を飲んでいる

チェック項目が多いほど要注意。今すぐ睡眠環境の改善を！

睡眠はなぜ大切？

昼 間に活発に働く大脳は、睡眠によって休息します。体内の細胞分裂が盛んになり、免疫細胞が体内を点検するのも眠っている間。体のメンテナンス作業が睡眠不足によって滞ると、疲れがたまって、集中力がなくなり、病気への抵抗力が弱くなってしまいます。また、糖尿病や高血圧などの生活習慣病が悪化する要因の一つになったり、事故原因の背景になったりと、睡眠不足が引き起こす心や体への悪影響は計り知れません。

睡眠障害を起こす5大原因

不 眠の原因は5つに分類されます。寝室の光や騒音、時差ぼけなどから生じる【生理学的原因】、精神的なストレスからくる【心理学的原因】、皮膚のかゆみや夜間排尿、痛みなどが引き起こす【身体的原因】、うつ病や不安神経症などから生じる【精神医学的原因】、そして、薬の副作用として生じる【薬理学的原因】です。原因を解消しても眠れず、3週間以上の長期にわたって不眠に悩んでいるなど、睡眠に関して気になる症状があったら、睡眠障害の専門家に相談しましょう。

あなたの「いびき」は大丈夫？

睡 眠中の大きないびきや呼吸が止まることがある人は、「睡眠時無呼吸症候群」の疑いがあります。この症状は肥満の人に多く、メタボリックシンドローム（メタボ）とも関係が深い症状です。寝ている間に呼吸数が少なくなると、体が低酸素状態になり、高血圧などの合併症を起こしやすく、さらにメタボになりやすいという悪循環にもつながります。また、心筋梗塞や脳卒中のリスクを高めるほか、交通事故や労働事故の原因にもなります。予防としては、肥満の人は減量し、就寝前のアルコールや食べすぎを避けるなど、生活習慣を改善することが大切です。

あなたも〝睡眠〟を見直して、心と体の不安を解消しましょう。

● 快適な睡眠を得る生活習慣のポイント
1. 朝日を浴びて体内時計を調整しましょう。
2. 朝食はしっかり食べましょう。
3. 昼寝は短めにしましょう。
4. 適度な運動を心がけましょう。
5. 睡眠時間は人それぞれ。自分にあった睡眠時間を。
6. 寝酒は禁物です。

● 快適な睡眠環境を整えよう
1. まくら…自分にあった素材や高さを選びましょう。
2. 寝室の明るさ…1～30ルクス以内に設定を。明かりをつけて寝る人は間接照明がお勧めです。※ホテルのフットライトが約1ルクス
3. 室温と湿度…夏は室温を25～28度、冬は18～22度。湿度は50～60%に調節しましょう。
4. 頭寒足熱…手足が冷える人や寒い夜は、足元を湯たんぽやカイロなどで温めるとよく眠れます。
5. 敷き布団…適度なかたさのものを選びましょう。

心配ごと相談

12月21日㊏は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。

❶**日時** 12月5日㊋10時～15時
場所 役場 赤池支所

❷**日時** 12月12日㊍10時～15時
場所 公民館 方城分館

❸**日時** 12月21日㊏10時～15時
場所 金田社会福祉センター

❹**日時** 1月9日㊍10時～15時
場所 公民館 方城分館

問 社会福祉協議会 ☎22-6631

補聴器相談

❶**日時** 12月9日㊊13時～14時
場所 役場 方城支所

❷**日時** 12月9日㊊15時～16時
場所 福智町役場 赤池支所

❸**日時** 12月13日㊎9時～10時
場所 役場 本庁舎

問 役場 福祉課 ☎22-7763

福岡県巡回交通事故相談

交通事故でお困りの人は、お気軽にご相談ください。

日時 12月16日㊊10時～15時
場所 田川市役所市民課

問 福岡県交通事故相談所 ☎092-622-0403

子育て支援センター行事

就学前の親子が対象です。すべて10時30分開始。お気軽にご参加ください。

❶**誕生会**▼12月6日㊎（要予約）
※12月生まれのお子さんは3日㊋までに予約してください。

❷**親子リズム遊び**▼12月13日㊎

❸**クリスマス会**▼12月20日㊎（要予約）
※6日㊎までに予約してください。

❹**誕生会**▼1月17日㊎
※年末年始の休みは12月28日㊏～1月5日㊐までです。

問 子育て支援センター ☎22-2401

全国一斉労働トラブル110番

↑相談は無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

サービス残業や解雇など、労働トラブルの相談に司法書士が応じます。

日時 12月21日㊏10時～19時
相談方法 電話相談
相談電話 ☎0120-610-787

問 県青年司法書士協議会事務局 ☎092-555-2276

1月10日は110番の日

110番は事件事故の緊急通報専用電話で、全て警察本部の通信司令室につながります。警察に対する相談、要望は#9110にお願いします。

問 田川警察署 ☎42-0110

建物を新築・増築・取り壊したとき

次の場合は、役場税務課までご連絡ください。

▼建物を新築・増築したとき
▼建物の全部または一部を取り壊したとき

※平成26年度課税の基準日は、平成26年1月1日です。

問 役場 税務課 ☎22-7762

みんなでおしゃべり会

子育てについて一人で悩まず、おしゃべり会に参加しませんか。

日時 12月19日㊍10時～12時
場所 コスモス保健センター 会議室1

問 子育てアドバイザー岸谷さん ☎090-7380-4558

年末の交通安全県民運動

県では、飲酒運転の撲滅・子どもと高齢者の交通事故防止を重点目標に掲げ、年末の交通安全県民運動を実施します。安全運転に努めましょう。

運動期間 12月11日㊌～31日㊋

問 役場 総務課 ☎22-0555

農業用軽油免税申請の手続き

農業を営む人がトラクターなどに使用する軽油については、本人の申請により、軽油引取税が免除される「免税証」が交付されます。免税証の交付には、必ず申請が必要ですので、12月末までに「免税証交付申請書」と「耕作証明書」を、飯塚・直方県税事務所まで郵送してください。免税証の交付日や必要書類など、詳しくはお問い合わせください。

問 飯塚・直方県税事務所 間税係 ☎0948-21-4905

年末年始の火葬業務について

田川地区斎場の年末年始の休日は、1月1日㊋のみです。2日㊍から通常どおり火葬業務を行います。

問 田川地区斎場組合 ☎42-8002

平成25年度 自衛官採用試験

募集種目 自衛官候補生（男子）
資格 18歳以上～27歳未満の人
受付期間 11月中旬～1月中旬まで
試験期日 1月中旬～下旬
※資格年齢は、平成26年4月1日現在の年齢です。
※詳細はお問い合わせください。

問 自衛隊飯塚地域事務所 ☎0948-22-4847

普通救命講習Ⅰ開催

田川市郡に居住する小学5年生以上または田川市郡に勤務している人を対象に、無料で普通救命講習を行います。

日時 1月26日㊐9時～12時
場所 田川地区消防本部2階講堂
受付期間 12月20日㊎～1月19日㊐

問 消防署 金田分署 ☎22-0307

←もしものための心肺蘇生器具「AED」

人権週間講演会

県では12月4日㊌～10日㊋の人権週間に合わせ、人権にまつわる講演会や映画上映などを開きます。

日時 12月7日㊏10時30分～
場所 春日市クローバープラザ

問 県人権啓発情報センター ☎092-584-1271

戦没者遺児による慰霊友好親善事業

戦没者の遺児を対象に、旧戦域を訪ね、慰霊追悼を行うとともに同地域の住民と友好親善を図ります。

❶**巡拝場所** フィリピン
巡拝日程 3月5日㊌～12日㊌
申込期限 1月21日㊋
参加費 9万円（募集120人）

❷**巡拝場所** 中国
巡拝日程 3月20日㊍～28日㊎
申込期限 2月5日㊌

参加費 9万円（募集60人）

問 日本遺族会 事務局 ☎03-3261-5521

ハローワーク田川 利用案内

ハローワーク田川では、仕事を探している人の「一日でも早い再就職」のため、各種支援を用意し、職業相談を行っています。求人情報や面接のアドバイスなど、就職希望の人はぜひご利用ください。

問 ハローワーク田川 ☎44-8609

養育費の電話相談

母子・父子家庭または離婚協議中の方を対象に養育費に関する電話相談を実施しています。一人で悩まずに、まずはご相談ください。

相談日時 平日9時～16時

問 母子家庭等就業・自立支援センター ☎0948-21-0390

工芸統計調査にご協力を

製造事業所を対象とした「平成25年工業統計調査」が行われます。12月から来年1月にかけて調査員が伺いますので、正確なご記入にご協力をお願いします。

調査基準日 12月31日㊋

問 役場 まちづくり総合政策課 ☎22-7766

保育士有資格者現場復帰研修会

結婚や出産などにより、仕事現場を離れている保育士の再就職を支援する研修会が開かれます。当日は、保育所（園）で体験実習を受講します。

日時 12月18日㊌10時～15時
場所 指定された保育所（園）

問 保育協会 ☎092-582-7955

筑豊地区教育力向上県民フォーラム

学校、家庭、地域が連携して教育力を高める「教育力向上福岡県民運動」。今回、その一環で、筑豊地区の県民フォーラムが開かれます。

日時 12月21日㊏12時～開場
場所 イイヅカコスモスコモン
内容 東北大学加齢医学研究所・川島隆太教授による基調講演など

問 筑豊教育事務所 社会教育室 ☎0948-25-2602

産業別最低賃金の改定

12月10日㊋付けで福岡県特定最低賃金（時給）が改定されます。

▼製鉄業、製鋼、製鋼圧延業、鋼材製造業848円
▼電子部品・回路・機械器具、デバイス、情報通信機械器具製造業806円
▼輸送用機械器具製造業828円
▼百貨店、総合スーパー775円
▼自動車（新車）小売業819円

※特定賃金に該当しない産業は福岡県最低賃金1時間712円を適用。

問 労働局労働基準部 賃金課 ☎092-411-4578

方城磯研「秋季大会」結果

福智町文化連盟磯釣研究会の秋季大会が、10月19日・20日に長崎県壱岐で開催されました。結果は次のとおり。

【真鯛の部】
優勝▼友寄 康秀さん（50センチ）

【他魚の部】
優勝▼春永 雅彦さん（45センチ・イサキ）

↑磯釣り研究会の会員16人が参加。当日は風が穏やかで絶好の釣り日和でしたが、魚の活性が低く、釣果がふるいませんでした。

pick up 田川税務署からお知らせ

This information of this month

農業・営業・不動産・山林所得がある人へ

平成26年1月分から

記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡充されます！

これまで、農業所得・営業所得・不動産所得・山林所得の合計額が300万円を超える人のみ必要とされていた「記帳」と「帳簿」書類の保存が、金額にかかわらず前記の所得を生じる人全員必要になりますのでご注意ください。

詳しくは、下記ホームページをクリック！

国税庁ホームページ 検索

問 田川税務署 ☎44-0432

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会詠草

切り貼りの増えし障子を張り替へむ大きなさくら小さなさくら　三村　和子
健やかな独り暮しも病えて心弱りぬ萩の花咲き　桑野　昭子
散歩みち大豆畑にコオロギの姿なけれど声の聞えて　福田キヨ子
越し方は山あり谷あり七十年孫と語らう午後の縁側　高村　三也
秋雨に金辺の川面を飛んでゆく白鷺一羽にいやされている　白石　清和
味のよき生産者名の品みつけみかん三袋とおおめに買いぬ　八代　範夫
降り続く雨に小鳥も鳴かずしてさびしさつのる留守居の夕べ　白石　信子
たまわりしカステラと共に味わいぬ紅茶の色と師との絆を　前田　信子

はな・高齢者大学句会　池田一歩選

濡れ縁にある静けさや夕時雨　香月　眸
柿の実の色を尽くして落ちにけり　高津　澄子
年尾忌や心の枷を引きしめる　熊谷カツミ
山茶花の咲き始めたる庭明り　井上タミ子
自己流の老いの体操園小春　永末　公恵
無花果園客呼ぶ旗の風はらみ　日高八重子
秋高し吾が行く道の見えてきし　藤本　孝子
谷川の流れのはるか山の秋　藤岡　幹則
何気なくさする手の甲そゞろ寒　松本みつお
狛犬もひまな顔して神の留守　山本ひろし

福智町金田公民館俳句教室　岩井鬼童選

身ぎれいに老いたし後の更衣　長副美恵子
露の世の柩に小さき別れ窓　仲谷ひろえ
花野まで園児を乗せて縄電車　松岡　蔦枝
名月やベートーベンのソナタ聴く　西田　真美
龍となり湖面を登る霧の渦　小川　雪
夜や長し脳訓練のパズル解く　今井三千代
カーテンを揺らし色なき風通る　山本　空木
火の国の小さき教会小鳥来る　小野　美幸
がやがやと生涯学習芋料理　加藤きみ子
是れよりは田の神の域曼珠沙華　建部三由紀

方城句会　池田一歩選

数珠玉を繋ぎて昭和遠くなり　木村　誠一
山車担ぐ孫等の後追ひ躓きぬ　倉石嘉代子
健気にも福智颪の秋桜　白石　凡子
菊剪れば一際強き香かな　杉　フジエ
秋晴の名護屋城趾をたもとほる　長尾　冴子
手すさびの指にはやさし鷹の爪　長末　耕一
神鏡に吸ひ込まれゆく秋の雲　藤井耿之介
小春日や葉隠れの蝶飛び出しぬ　渡邊　一枝
見渡せば虹の松原鳥渡る　尾崎　和子

福智の風

▶「残したい。けど復興するためのお金も協力も集まらない」。齊藤さん（P6）を取材し、「手遅れになる前に」と、躍起になって取り組んだ今回の特集。この町に鉄道がある歴史を学び、それを必要とする住民の声を聞き、そのために必死で踏ん張る「へいちく」を知り、「失いたくない」と切に思いました。ぜひ皆さんにもこの思いが届いてほしい…。（久原）

▶今年も残すところあと1か月。段々と寒さが厳しさを増し、編集を終えて車に向かうとガラスに氷が…。気象庁によれば、今年の冬は雪の多い寒い冬になるそうです。寒くなると恋しくなるのが「こたつ」。我が家ではすでに威力を発揮し、私と息子を虜に。亀のような父子の姿を、氷より冷たい視線が指すのは気のせいだと信じています。（相原）

写真が語る昔 なつかしの写真館

旧国鉄を支えた女性駅員

提供者●平成筑豊鉄道
撮影日●昭和15年ごろ

赤池の踏切で貨物列車通過時の安全確認を行う女性駅員。戦時中、出兵した男性に代わり、石炭輸送の要となった旧国鉄を女性が支えていたことがわかる貴重な資料です。

昔の写真を探しています！
問 総務課広報・広聴係
☎22-0555

1 安らぎの空間を演出したお茶席。2 耳と心に響いた福智炎蓮太鼓の演奏。3 日々磨いた演舞で観客を魅了。4 盤上で熱き頭脳戦を展開。5 文化を肌で楽しめた作陶体験。6 自慢ののどを披露した歌謡・詩吟の出演者。7 美しいハーモニーが胸に響いたふれあいコンサート。8 親子で楽しめる作品が集まった展示会場。9 軽快なダンスを披露したダンサーたち。

Pickup Topics ピックアップトピックス

●2013 福智町文化祭

主催／福智町文化連盟

文化の花が咲き誇る

年に一度の晴れのステージ、見る人を魅了してやまない感性豊かな作品の数々―。11月2日から約3週間に渡って、福智町文化祭が開催されました。ここでは、福智の秋を鮮やかに彩った小さな町の大舞台の様子を紹介します。

文化祭の華々しいスタートを飾ったのは、3千点を越す力作が勢ぞろいした「作品展示」。11月2日から2日間、金田体育館と公民館金田分館にはバラエティー豊かな作品が集い、来場者の感性を揺さぶり、出店などのイベントも大盛況でした。11月2日に地域交流センターで行われた「リズムダンス」は、総勢36人のダンサーが躍動感あふれるダンスで観客を魅了。翌3日の公民館金田分館では「歌謡・詩吟発表会」が行われ、総勢88人の出演者たちが自慢ののどを会場に響かせました。11月10日の「ふれあいコンサート」では、8組のハーモニーが地域交流センターを癒やしの美声で包み、最終日となった11月17日には、中央公民館で「囲碁大会」が行われ、盤上で静かな熱戦を展開。地域交流センターの特設舞台では、「芸能発表会」に出演した179人の演者たちが卓越した身のこなしや演奏を披露し、観客から惜しみない拍手と歓声を受けていました。

秋の福智に今年も美しい文化の花を咲かせた文化祭。その花は来場者の心に文化の種をまき、これからもさらなる広がりをみせていくことでしょう。

絵画や書、生け花、手芸、伝統的工芸品の上野焼などがズラリと並んだ展示会場には、2日間で延べ2千人が来場。子どもから大人まで、作品の魅力に身も心も引き込まれていました。

第4回福智町暴力等追放町民大会
平和で明るい町への願いを込めて

暴力のない明るい町づくりを目指した「福智町暴力等追放町民大会」が11月10日に金田分館で盛大に開かれました。会場には約250人が集い、暴力追放啓発ビデオを鑑賞したのち、「あらゆる暴力犯罪を断固追放しよう」などの決議文を採択。「暴力等に屈しない町民として頑張ろう」と、全員で力強くシュプレヒコールを上げ、暴力追放への気運を高めていました。

↑今年初めて行った、暴力のない明るい町づくりを町民に呼びかける暴追パレード。

↓土に溶けやすい素材でできた「エコ風船」を、秋空へと放った2・3年生38人。

田川人権擁護委員協議会主催「人権教室」
わたしたちの願い、遠くまで飛んでゆけ

今年度「人権の花運動」の指定校である上野小学校で、10月26日に人権教室が行われました。人権擁護委員の手作り紙芝居で人の尊厳について学習した後、子どもたちが栽培したひまわりの種と手書きの言葉を添えた「エコ風せん飛ばし」を実施。風船が見えなくなるまで手を振り続けた子どもたちは、その光景とともに人権の大切さを深く胸に刻んだことでしょう。

↓日頃の訓練の成果を発揮した消防団員たち。これからも地域防災の要としての活躍が期待されます。

第2回福智町消防団操法大会
迅速かつ正確な技術を披露

消防団員の消火技術向上が目的の「第2回福智町消防団操法大会」が10月27日、彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。競技には13の分団から5人ずつ選ばれた精鋭65人が出場。消防車から3本のホースをつなぎ、62メートル先の「火」と記された的に放水するまでの時間や消防器具操作の正確さなどを競い合いました。互いのプライドをかけて挑んだ選手たちは、指揮者の号令に従って息の合った連携を披露し、数秒を争う接戦を展開しました。【結果】優勝：第3分団（金田）準優勝：第1分団（金田）3位：第11分団（市場）

コスモスフェスタ2013
秋の福智を彩った満開のコスモス

10月27日に方城温泉ふじ湯の里付近の畑で福智町花いっぱい運動の会主催の「コスモスフェスタ2013」が開かれ、町内外から家族連れなど約500人が来場しました。今年も1ヘクタールの畑をピンクや白の花びらが埋めつくし、幼児たちが一面のコスモスの中でかくれんぼを楽しむ場面も。参加者は猪鍋などの郷土料理に舌鼓をうちながら、秋の絶景を満喫していました。

↑10年目の開催を祝うかのように、澄み渡った空の下で咲き乱れた今年のコスモス。

↓自分にあった逸品を求めて、感触を確かめながらじっくりと吟味する陶芸ファン。

第18回あがの焼秋の窯開き
陶郷上野のぬくもりに触れた3日間

「あがの焼秋の窯開き」が10月25日から3日間に渡って開かれました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合13窯元には、秋の新作や掘り出し物を求めて約3千人が来場。会場では旬の食材や八女茶玉露を味わえる出店もあり、陶芸ファンたちは秋の味覚と400年以上の歴史を誇る上野焼の伝統美を肌で感じながら、秋の上野路を五感で楽しみました。

親子で楽しむ夕べ2013
親子で感動を共有した秋の夜

台風の影響で延期されていた「親子で楽しむ夕べ」が、11月10日に中央公民館で行われました。九州を中心に活動を続け、今年で40周年を迎えるプロの人形芝居「かすぺる」が来町し、なじみの深い昔話「はなさかじいさん」を披露。舞台の上で繰り広げられた感動的なストーリーと人形とは思えない動きに、参加した約200人の親子は目と心を奪われていました。

↑公演後には人形との握手会なども開かれ、参加者たちは秋の夜長を存分に満喫。

↓観光資源として広く周知されていないスポットも案内。（写真：鷹取城慰霊石塔）

福智町観光モニターツアー
魅力を重ねた4コースで特別な一日を

観光地としての成熟度を高めようと、農林水産省の助成を受けてモニターツアーを行っている福智町。そのツアーに磨きをかけるため、自然や伝統文化、癒やしをテーマにした町の魅力満載の4コースを企画。北九州市から観光客57人を招き、11月16日に2度目のツアーを実施しました。この日回収したアンケート結果を活用し、今後さらに充実したコース設定に取り組みます。

ふくち玉手箱 Fukutama

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

HAPPY BIRTHDAY 12月生まれ

髙橋 愛衣ちゃん 2
H23.12.21 生(神崎 星ヶ丘団地)

森川 拓郎くん 2
H23.12.17 生（神崎 南木）

次原 悠斗くん 2
H23.12.14 生（金田 西金田）

大堀 翼くん 2
H23.12.8 生（金田 昭和町）

吉田 優咲ちゃん 2
H23.12.1 生（弁城 松原）

西井 菖くん 1
H24.12.13 生（伊方 野添）

悔しさをバネに励んだ稽古が実を結ぶ

→「再び連覇を目指します」と、意気込む進くん

稲築柔道教室に所属する進秀成くん（伊方小４年）が、11月３日に行われた川崎町少年柔道大会に出場しました。３連覇がかかっていた昨年の同大会をけがで欠場し、雪辱を果たそうと挑んだ今大会。予選を勝ち抜き、迎えた決勝では相手の攻勢に苦戦しながらも、得意の内股で態勢を崩して押さえ込み一本で見事優勝に輝きました。

笑顔募集中！

締切日はお誕生月の前月10日まで。（土・日・祝日の場合は翌開庁日）今月は1月に誕生日を迎える満1歳～３歳までのお子さんの写真（デジカメの場合はデータ）を募集します。**12月10日 火 まで**に役場窓口に持参して申し込みください。（締切厳守）

▶役場総務課 広報担当
☎22-0555

松尾 昴志くん 3
H22.12.27 生（伊方 後谷）

相原 颯皇くん 3
H22.12.20 生（神崎 南木）

早木 里依音ちゃん 3
H22.12.12 生（赤池 生力NT）

平島 央士くん 3
H22.12.6 生（金田 平原）

松村 美音ちゃん 2
H23.12.23 生（金田 敷島）

愛情に答えたパプリカが豊作で恩返し

→色とりどりのパプリカと浦中さん

浦中孝一さん（赤池）宅で、今年もパプリカが大量に実をつけました。2畳ほどの家庭菜園に7月から実をつけ始めたパプリカは、約4か月間で500個以上も結実。予想を越えた収穫にうれしさをにじませながらも、家庭では食べきれず、親戚や近所の人にもお裾分けしたそうです。

海を越えて心と心で育んだ日韓の友情

→出会いと経験が児童の成長を刺激

相互訪問で児童の国際的感覚を養う「日韓交流事業」。10月12日からの3日間、町内の小学5・6年生14人が韓国を訪問しました。参加者は泗川（サチョン）市の児童と一緒に、当日開かれていた「世界の伝統医薬エキスポ」や友好記念碑などを見学し、国境を超えた心の交流を深めました。

沿道の声援を背にゴールへと全力疾走

→一着目指し、一斉に駆け出す参加者

ふれあいマラソン大会が11月17日に彦山川・中元寺川合流地点河川敷で行われました。当日は雨で一時中止が検討されたものの、参加者の熱意が天に届き、天気は小康状態に。小雨と寒風に白い息を吐きながらも、参加者は温かい声援を力に変え、河川敷を元気に駆け抜けました。

上野焼の新たな可能性を高めた一夜

→上野焼もディナーのムードを演出

10月27日に福岡市で上野焼と一流シェフのコラボ企画「ツールドゥミラベル」が開かれました。町と特産品開発で手を結ぶ「博多ミラベル21」が主催し、3人のシェフが上野焼に盛り付けたフルコースを料理。この夜、上野焼の器の上で実現した和洋の共演を40人が堪能しました。

古代のロマンに思いを馳せて

→ハート型など個性的な勾玉も成形

伊方古墳の一般公開にあわせ、10月20日に児童センター主催の親子勾玉（まがたま）教室が伊方古墳前の広場で行われました。参加した40人の親子は、4cm四方の石をヤスリなどで細かく削って成形。古代の歴史を肌で感じながら、世界でひとつだけの勾玉づくりを親子で楽しみました。

天神のど真ん中で筑豊をPR

→各ブースで長蛇の列ができました

筑豊の良さを広くPRするイベント「筑豊フェア2013」が、天神中央公園（福岡市）で11月9日に開かれました。筑豊内15市町村から35店舗が集結し、福智町は「ふくちリッチ☆ジェラート」を出品。会場には過去最高の約9,000人が来場し、筑豊の隠れた魅力を満喫していました。

福智の剣士がその実力を結果で証明

→堂々の結果に胸を張る出場者たち

田川支部剣道大会が10月27日に田川市で行われ、福智剣道部が活躍しました。結果は次の通り。【30代】優勝：秦伸輔、第3位：辻川浩明【40代】第3位：渡邊喜代信【50代】準優勝：中山正和【60代】第3位：勝木勉【女子】準優勝：田島佳奈、第3位：橘高（きったか）敏江（敬称略）

スポーツを通して広げた交流と親睦の輪

→和気あいあいとした雰囲気で競技

第49回田川郡身体障害者体育大会が、10月27日に方城グラウンドで行われました。楽しく体を動かすことが目的の同大会に、田川郡内の全町村から約300人が参加。見るだけでも楽しい11種目が行われ、スポーツを通して田川在住の障害者とその家族が互いに親睦を深めました。

2013 >>>> 2014

福智町音楽祭

このまちで繰り広げられるとっておきの音楽イベント
素敵なひとときを奏でる空間が、ここにあります。

Vol.1 クラシックコンサート

福智町音楽祭クラシックの部で、音楽監督を務める永田郁代さんが手がけるコンサート。今回は「もののけ姫」の主題歌を歌い、その類まれな美声が高く評価された米良美一さんをはじめ、一流のアーティストが秀逸なステージを披露します。ぜひこの貴重な機会を間近で堪能ください。

[日時] 12月24日 火 18:30開場／19:00開演

[会場] 福智町地域交流センター（伊方4478番地1）

[料金] 大人 2,000円／小中学生500円
※未就学児はご遠慮ください

[チケット販売] 中央公民館・金田分館・方城分館

[出演者]

カウンターテナー
米良 美一

ソプラノ
緑川 まり

ヴァリトン
ケン アマド

ピアノ
永田 郁代

[主催] 福智町／福智町教育委員会

問 教育委員会 生涯学習課 ☎28-4100

Vol.2 フクチ・シマウタ・フェス

童謡作曲家・河村光陽の生誕地である福智町と長年にわたり子どもたちが相互訪問し、交友を育んできた沖縄県中城村。今回、この交流事業がきっかけで互いの地で長らく歌い継がれた「唄」と「歌」が、福智で初めて融合します。

[日時] 1月18日 土 15:00開場／15:25開演

[会場] 福智町地域交流センター（伊方4478番地1）

[料金] 前売 大人 1,000円／小中学生500円
当日 大人 1,500円／小中学生1,000円
※未就学児はご遠慮ください

[チケット販売] 中央公民館・金田分館・方城分館
役場 まちづくり総合政策課

[出演者]

古謝 美佐子

普天間 かおり

佐原 一哉

[主催] 福智町／福智町教育委員会

[後援] 日本航空山口・北九州支店

問 役場 まちづくり総合政策課 ☎22-7766
教育委員会 生涯学習課 ☎28-4100

▼早いもので、一年の締め括りの月を迎えることになった。12月は師走とも称されるくらい、私たちにとって何かと気忙しい思いをする月でもある。例年のように、マスコミは挙って今年一年を振り返る特集を組み、忘れかけていたことを記憶に蘇らせてくれるのだろうか――そのように思いを巡らせながら、私なりに過ぎ去った日々を辿ってみた▼何と言っても一番のニュースは、7年後（2020年）のオリンピック開催地に東京が選ばれたことだと断じても、大方の同意が得られるのではないか。これから、開催に向けて選手強化策や施設整備等が急ピッチで進められるのと同じ速度でオリンピックムードが高まっていくのは、想像に難くない▼昭和39年に東京で開催された時は、まだ高校生だったが、あの感動を再び味わうことができるとは思ってもみなかった。その年の5月に父を亡くし、鬱々とした毎日を送っていたが、日本人選手の頑張る姿を見て大いに反省をしたものである。とりわけ、「東洋の魔女」と呼ばれた女子バレーボールチームの大活躍は、日本中を興奮の坩堝と化す程の強烈なものであった▼誰でも長い人生の中では、沈みがちな時もあれば、上昇気流に乗っている時もある。精神的に落ち込んだ時に、どのようにして立て直しを図るのか――人によって手段や方法は異なると思うが、自己の周辺に必ずそのヒントは見つかるはずだ。そうした観点で物事に接すれば、違った喜びが得られるかもしれない。7年後の東京オリンピックが、どんな感動を与えてくれるのか。本当に楽しみである。

浦田 弘二

広報ふくち ■ 発行／福智町（本庁）〒822-1292 福岡県田川郡福智町金田937番地2 ■ URL http://www.town.fukuchi.lg.jp
■ 編集：総務課広報・広聴係 TEL 0947-22-0555 FAX 0947-22-0782 ■ 印刷：マツオ印刷株式会社